大分大学　アセスメント・チェックリスト

学部・研究科	理工学研究科	学科・専攻・課程	博士前期課程 理工学専攻	コース （教育プログラムと分野）	情報・数理・データサイエンスプログラム（高度実践系）（情報・数理系） 先進機械システムプログラム 物理・電気電子プログラム 応用化学プログラム 地域デザイン・建築学プログラム

最終更新日	令和 6 年（2024 年）11 月 29 日

大分大学大学院　学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）		
1	高度な知識と知的能力	専門分野における高度な知識を深化させて，その展開力を強化し，理工学の視点から複雑化する社会の諸問題に対して，情報やデータを分析し，論理的な思考と批判的な視点をもって，学際的かつ創造的に取り組むことができる。
2	確かな研究マネジメント能力	研究の目的，方法やスケジュールを明確に計画し，倫理，知的財産権，著作権などの規範に基づき研究を遂行し，研究に係る情報や結果を適切に管理・活用できる。
3	社会を牽引する能力	多様性を尊重し，グローバルな視点をもちながら課題解決のために高度な論理的思考力と協働を重視したコミュニケーション力のもと，率先して持続可能な社会とイノベーションの創造・創出に意欲的・積極的に参画できる。

教育課程と学習成果に関する基準	
1	学位授与方針が具体的かつ明確であること
2	教育課程方針が，学位授与方針と整合的であること
3	教育課程の編成及び授業科目の内容が，学位授与方針及び教育課程方針に則して，体系的であり相応しい水準であること
4	学位授与方針及び教育課程方針に則して，適切な授業形態，学習指導法が採用されていること
5	学位授与方針に則して，適切な履修指導，支援が行われていること
6	教育課程方針に則して，公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
7	大学等の目的及び学位授与方針に則して，公正な卒業（修了）判定が実施されていること
8	大学等の目的及び学位授与方針に則して，適切な学習成果が得られていること

番号	実施状況	手法	名　称	実施時期	実施頻度	対　象	チェック内容・項目	対応 DP			評価者	実施責任者	結果の活用方法	教育課程と学習成果に関する基準							
								1	2	3				1	2	3	4	5	6	7	8
1	実施予定	成績評価基準の明確化	大分大学理工学研究科　成績評価方針（申合せ）	通年	毎年	全学年	スコアの評価	●	●	●	大学院教務委員会	大学院教務委員長	学生の到達度の評価	●	●	●	●	●	●	●	●
2	実施予定	評価結果の検証	大学院評価の検証	通年	毎年	全学年	成績分布の検証	●	●	●	大学院教務委員会	大学院教務委員長	成績分布の偏りの確認	●	●	●	●	●	●	●	●
3	実施予定	成績判定資料	留年・休学・退学の学生数と理由の分析	3 月	毎年	全学年	留年・休学・退学の学生数とその理由	●			プログラム教員・大学院教務委員	プログラム長	成績不審者・留年生への指導，学生への学習支援	●	●	●	●	●	●		
4	実施予定	Web アンケート	修了予定者アンケート	3 月	毎年	修了予定者	カリキュラム満足度，学習達成度，学生生活の満足度	●	●	●	学生	大学院委員会・理工学研究科大学院教務委員会	今後のカリキュラムの改善や学生支援に利用する	●	●	●	●	●	●		●
5	実施予定	客観試験	修論試問	2 月	毎年	2 年生（情報・数理・データサイエンスプログラム[高度実践系]を除く）	研究完成度	●	●	●	プログラム全教員（情報・数理・データサイエンスプログラム[高度実践系]を除く）	プログラム長	自ら課題を探求し，解決していく能力と物事を論理的に説明できる能力を評価する。今後の指導方法や指導体制の改善に利用する	●	●	●	●	●	●	●	●
6	実施予定	成績判定資料	修了判定	3 月	毎年	2 年生	修了しない学生と理由	●	●	●	プログラム全教員（分野毎）	プログラム長	修了しない学生は，指導教員を中心にして対応を行い，今後の指導方法の改善に利用する	●	●	●	●	●	●	●	●
7	実施予定	論文	修士論文	2 月	毎年	2 年生（情報・数理・データサイエンスプログラム[高度実践系]を除く）	論文の完成度	●	●	●	プログラム教員（分野毎）	プログラム長	カリキュラムの総合的な妥当性の把握	●	●	●	●	●	●	●	●
8	実施予定	課題解決の実践	特別研究・特定課題研究	前期・後期	毎年	2 年生	課題解決の取り組みの完成度	●	●	●	プログラム教員（分野毎）	プログラム長	カリキュラムの総合的な妥当性の把握			●	●	●	●	●	●

大分大学　アセスメント・チェックリスト

学部・研究科	理工学研究科	学科・専攻・課程	博士後期課程 理工学専攻	コース （教育プログラムと分野）	基礎科学領域 先進技術領域 環境デザイン領域

最終更新日	令和 6 年（2024 年）11 月 29 日

大分大学大学院　学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）		
1	高度な知識と知的能力	専門分野におけるより高度で最先端の知識に基づき，自立的かつ学際的な連携のもとで研究を遂行することができるとともに，社会の課題解決やイノベーションにつながる新たな理論および分野の創出実現に取り組むことができる。
2	確かな研究マネジメント能力	専門分野におけるより高度な研究プロジェクト実施のための計画を自ら立案し，管理・遂行することができるとともに，社会における責任と使命を強く認識し，豊かな人間性，法令遵守精神，並びに高い倫理観に基づいた行動ができる。
3	社会を牽引する能力	多様な文化や価値観を理解・尊重し，より高度で論理的な思考力とコミュニケーション力によって，様々な課題解決に向けた広範な協働や研究成果の発信ができるとともに，イノベーティブなマインドをもって，持続可能社会の創造・創出に意欲的・積極的に取り組むことができる。

教育課程と学習成果に関する基準	
1	学位授与方針が具体的かつ明確であること
2	教育課程方針が，学位授与方針と整合的であること
3	教育課程の編成及び授業科目の内容が，学位授与方針及び教育課程方針に則して，体系的であり相応しい水準であること
4	学位授与方針及び教育課程方針に則して，適切な授業形態，学習指導法が採用されていること
5	学位授与方針に則して，適切な履修指導，支援が行われていること
6	教育課程方針に則して，公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
7	大学等の目的及び学位授与方針に則して，公正な卒業（修了）判定が実施されていること
8	大学等の目的及び学位授与方針に則して，適切な学習成果が得られていること

番号	実施状況	手法	名　称	実施時期	実施頻度	対　象	チェック内容・項目	対応 DP			評価者	実施責任者	結果の活用方法	教育課程と学習成果に関する基準							
								1	2	3				1	2	3	4	5	6	7	8
1	実施予定	アンケート	修了時アンケート	2 月	毎年	修了予定者	カリキュラム，自己達成度，学生支援，施設・設備の満足度の評価	●	●	●	学生	内部質保証委員会	アンケート結果から改善項目の抽出と改善方法の検討を行う	●	●	●	●	●	●	●	●
2	実施予定	結果報告書	演習等結果報告書	9 月，3 月	毎期	学生	実施内容	●	●	●	主・副指導教員	主指導教員	実施内容を確認し，今後の履修および研究指導計画の改善に資する		●	●	●	●	●		●
3	実施予定	結果報告書	実習等結果報告書	9 月，3 月	毎期	学生	実施内容	●	●	●	主・副指導教員	主指導教員	実施内容を確認し，今後の履修および研究指導計画の改善に資する		●	●	●	●	●		●
4	実施予定	成果報告書	研究成果報告書	3 月	毎年	学生	研究の進捗状況	●	●	●	主指導教員	主指導教員	研究の進捗状況を確認し，今後の履修および研究指導計画の改善に資する	●	●	●	●	●	●		●
5	実施予定	結果および成果報告書	演習および実習結果報告書，研究成果報告書	3 月	毎年	学生	教育および研究の進捗状況	●	●	●	研究指導委員会	研究科長	教育および研究の現状を確認し，DP や評価基準，カリキュラム等の検討に資する	●	●	●	●	●	●		●
6	実施予定	学位論文草稿，プレゼンテーション，質疑	学位論文予備審査	年 4 期	毎年	学位論文提出者	学位研究内容のプレゼンテーション，学位論文草稿の内容確認，質疑応答	●	●	●	学位論文審査委員会	学位論文審査委員長	学位論文本審査における評価基準を満たすことができるように指導する	●	●	●	●	●	●	●	●
7	実施予定	学位論文，プレゼンテーション，質疑	学位論文本審査	年 4 期	毎年	学位論文提出者	学位研究内容のプレゼンテーション，学位論文の内容確認，質疑応答	●	●	●	学位論文審査委員会	学位論文審査委員長	学位論文本審査における評価基準に照らして評価し，今後の指導方法や指導体制の改善に資する	●	●	●	●	●	●	●	●
8	実施予定	プレゼンテーション，質疑	学位論文公聴会	年 4 期	毎年	学位論文提出者	プレゼンテーションと質疑応答	●	●	●	学位論文審査委員会	学位論文審査委員長	学位論文本審査における評価基準に照らして評価し，今後の指導方法や指導体制の改善に資する	●	●	●	●	●	●	●	●
9	実施予定	審査報告書	学位論文予備審査	年 4 期	毎年	学位論文提出者	予備審査報告書，学位論文申請書，学位論文草稿	●	●	●	研究指導委員会	研究科長	学位論文本審査における評価基準に照らして評価し，DP，評価基準，カリキュラム等の検討に資する	●	●	●	●	●	●	●	●
10	実施予定	審査報告書	学位論文本審査	年 4 期	毎年	学位論文提出者	本審査報告書，学位論文申請書，学位論文	●	●	●	研究指導委員会	研究科長	学位論文本審査における評価基準に照らして評価し，DP，評価基準，カリキュラム等の検討に資する	●	●	●	●	●	●	●	●